一般国道23号　　中勢道路

埋蔵文化財発掘調査概報２１

三重県指定有形文化財 木造赤坂遺跡出土陶質土器

２００９．７

三重県埋蔵文化財センター

例　　言

1　本書は、三重県が国土交通省中部地方整備局から委託を受けた一般国道23号中勢道路建設予定地にかかる平成20年度の埋蔵文化財発掘調査の概要報告書である。

2　調査にかかる費用は、国土交通省中部地方整備局の負担による。

3　調査の体制は下記のとおりである。

・調査主体　三重県教育委員会

・調査担当　三重県埋蔵文化財センター

調査研究Ⅱ課

課長	田村陽一			
主幹	上村安生			
主査	薗部英幸			
主事	淺尾　太	前野謙一		
技師	原田恵理子	水橋公恵	野嶌美沙子	
臨時技術補助員	才木　薫			
室内整理員	黒川敬子	太田浩子	森川絹代	北岡佳代子
	山口香代	西山実公子	中西千鶴	浜崎佳代
	中村敬子	小倉靖子		

・土工作業受託機関　株式会社アート

4　調査に際しては、下記の方々に専門的なご指導とご助言を賜った。記して感謝の意を表したい。
（敬称略・順不同）

定森秀夫（滋賀県立大学）　金大煥（京都大学研究生）

5　本書作成にかかる整理及び報告文執筆は、主として各遺跡の現場担当による。

6　本書で用いた座標は、世界測地系による国土調査法の第Ⅵ座標系を基準とし、方位は座標北を示す。

7　本書で用いた土色は、小山正忠・竹原秀雄編著『新版標準土色帖』（日本色研事業株式会社　1999年22版）に拠る。

目　　次

Ⅰ　前言　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（水橋公恵）・・　1

Ⅱ　調査のあゆみ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（水橋公恵）・・　3

Ⅲ　稲降遺跡（第１次）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（前野謙一）・・　8

Ⅳ　相川西方遺跡（第１次）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（野嶌美沙子）・・　9

Ⅰ　前　　言

１　中勢道路と埋蔵文化財保護

中勢道路は、三重県中勢地域の道路網を充実させるとともに、交通緩和とバイパス周辺の適切な土地利用を図り、地域の経済発展に寄与するために、一般国道23号のバイパスとして計画された鈴鹿市北玉垣町から松阪市小津町までの延長33.8㎞の道路である。当事業地内における埋蔵文化財の保護取り扱いについての協議は昭和58年から行われているが、その詳細については各概報に記載されているので参照されたい。

２　平成20年度の現地調査

平成20年度の埋蔵文化財発掘調査業務の委託契約は、国土交通省中部地方整備局長と三重県知事との間で４月１日に締結した。契約期間は平成20年４月1日から平成21年３月31日である。

本年度の調査工程や具体的方法については、５月27日に国土交通省三重河川国道事務所と三重県埋蔵文化財センターで協議を行った。その後、同様の協議を６月、８月、10月にも行い、発掘調査業務の円滑な推進を図った。また、次年度の調査にむけて、用地取得状況や調査計画についての協議を１月、３月に行った。

現地調査としては、８月に稲降遺跡の第１次調査、10～12月に相川西方遺跡の第１次調査を行った。

稲降遺跡は、中勢バイパス本線部分と国道306号振替線部分付近が調査対象範囲であるが、調査の条件が整った本線部分のみ、平成18年度に第１次調査が行われた。調査の結果、遺構・遺物が確認されなかったため、工事が可能な状態となっている。今回は、調査の条件が整った残りの部分を対象に、第１次調査を行った。調査対象範囲は3,600㎡、調査面積は300㎡である。

相川西方遺跡については、調査対象範囲のうち、調査の条件が整った北半部のみ、第１次調査を行った。調査対象範囲は10,000㎡、調査面積は1,000㎡である。

３　平成20年度の整理作業と報告書作成

過年度に現地調査を実施した池新田遺跡、木造赤坂遺跡、井手ノ上遺跡、舞出北遺跡、筋違遺跡の遺物実測・写真撮影、木製品・金属製品の保存処理、調査現場の図面・写真整理など、報告書作成に向けての資料整理を鋭意行った。

また、中林・中道遺跡、里前遺跡（第５次）、向山遺跡（第４次）の報告書を作成、刊行した。

４　その他

平成20年５月には、平成19年度までの４年間に調査した木造地区（池新田遺跡・木造赤坂遺跡・井手ノ上遺跡）の調査成果を特集した『中勢道路調査ニュース』№50を発行した。また、12月には、稲降遺跡と相川西方遺跡の調査結果に、中勢道路の20年にわたる発掘調査のあゆみを添えて『中勢道路調査ニュース』№51を発行した。

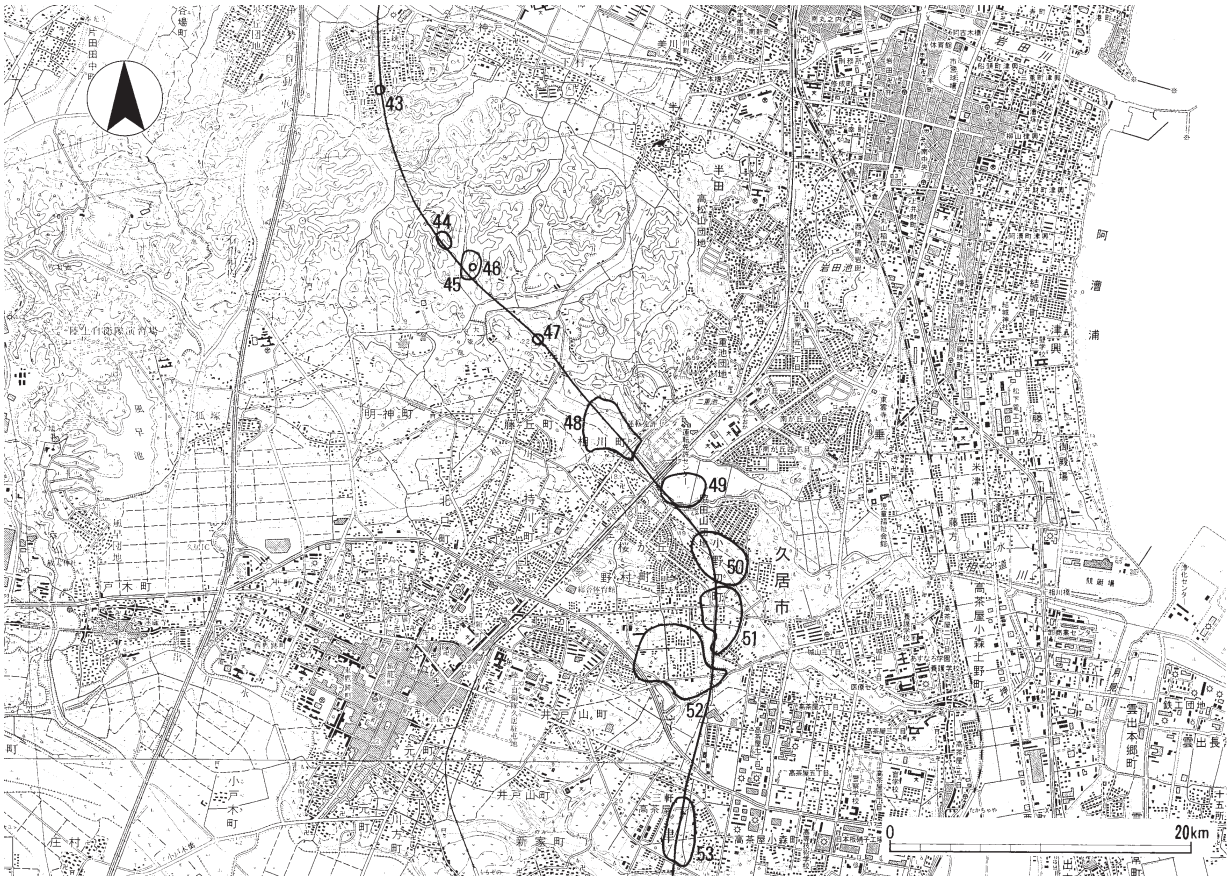
平成21年３月11日には、木造赤坂遺跡出土の陶質土器（コップ形土器）が三重県指定有形文化財に指定された（表紙写真）。これは、平成18年度の調査において出土したもので、国内に類例はなく、韓国慶尚南道陜川郡に所在する玉田古墳群で出土したものと酷似している。これまでの調査により、４世紀後半から５世紀前半の限られた時期に伽耶地域で作られたことが判っていることから、この地域との地域間交流を解明する良好な資料といえる。

（水橋公恵）

第１表　平成20年度　中勢道路発掘調査遺跡一覧

	工区	番号	遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	担当者
第１次調査	8	17	稲降遺跡	津市河芸町三行字稲降	300㎡	平成20年８月18日～平成20年８月26日	前野謙一 水橋公恵
	12	48	相川西方遺跡	津市久居相川町	1,000㎡	平成20年10月15日～平成20年12月15日	淺尾　太 野嶌美沙子 才木　薫
合　計					1,300㎡		

第１図　中勢道路（８工区付近）遺跡位置図（1：50,000）（国土地理院1：25,000『椋本』『白子』から）



第２図　中勢道路（12工区付近）遺跡位置図（1：50,000）（国土地理院1：25,000『津西部』『津東部』『大仰』『松阪港』から）

Ⅱ　調査のあゆみ

昭和58年４月、中勢バイパスが都市計画道路として決定されたことをうけて、三重県教育委員会は遺跡地図を確認するとともに計画路線内の遺跡分布調査を行った。その結果、多数の埋蔵文化財が路線内に点在することがわかり、現状保存が困難な遺跡については事前の発掘調査を実施することが必要となった。

発掘調査は、昭和63年に津市内で始まった。まず、主要地方道津関線から津芸濃大山田線までの区間（９工区）で、六大B遺跡・橋垣内遺跡・大古曽遺跡・山籠遺跡・宮ノ前遺跡・松ノ木遺跡の第１次調査が行われ、８月の初めからは太田遺跡・森山東遺跡の本調査が開始された。太田遺跡の自然流路からは弥生時代後期から古墳時代の土器や、鍬・杵・建築部材などの木製品が大量に出土し、県内で２例目となる銅鐸形土製品も見つかった。森山東遺跡からは弥生時代の水田跡が何面も確認された。12月24日には両遺跡の調査成果を発表する現地説明会を行い、多くの人々の参加を得た。

本格的な調査が開始されてから２・３年目にあたる平成元・２年度には、年間２万㎡を超える広大な面積の発掘調査が行われた。縄文時代や弥生時代から近代までの複合遺跡である宮ノ前遺跡や橋垣内遺跡、墳丘裾部に円筒埴輪が並べられ、蓋・家・盾・靫・人物・鶏など多種多様な形象埴輪が出土した門脇北古墳などで多くの成果があげられた。

平成２年度から５年度の４年間に約26,000㎡の調査が行われた六大B遺跡は、全国で22遺跡目、県下で４例目となった和同開珎銀銭や、役人の帯飾りである石帯、大量の緑釉陶器、奈良時代後半と見られる木簡、総数100棟を超える掘立柱建物が見つかるなど、一般的な集落とは異なる遺跡として非常に注目を集めた。

平成３年度には鈴鹿市内の第１次調査も始まった（６工区）。平成４年度には稲生遺跡や南谷遺跡、平成７・８年度には高井A遺跡の本調査が行われた。稲生遺跡は、建て替えを伴う33棟の竪穴住居が密集して検出され、稲生古窯跡群との地理的・時期的な近似性から古墳時代の須恵器生産に関わる集落跡とみられている。

平成６・７年度に調査された六大A遺跡からは、礫敷と井泉が設けられた大溝が検出され、その埋土からは足の踏み場にも困るほど大量の遺物が出土した。古墳時代の祭祀に供された土器や漆塗りの武器、琴・鐙、古代の蹄脚硯・土馬・土管が出土するなど、県内屈指の遺跡であることが判明した。

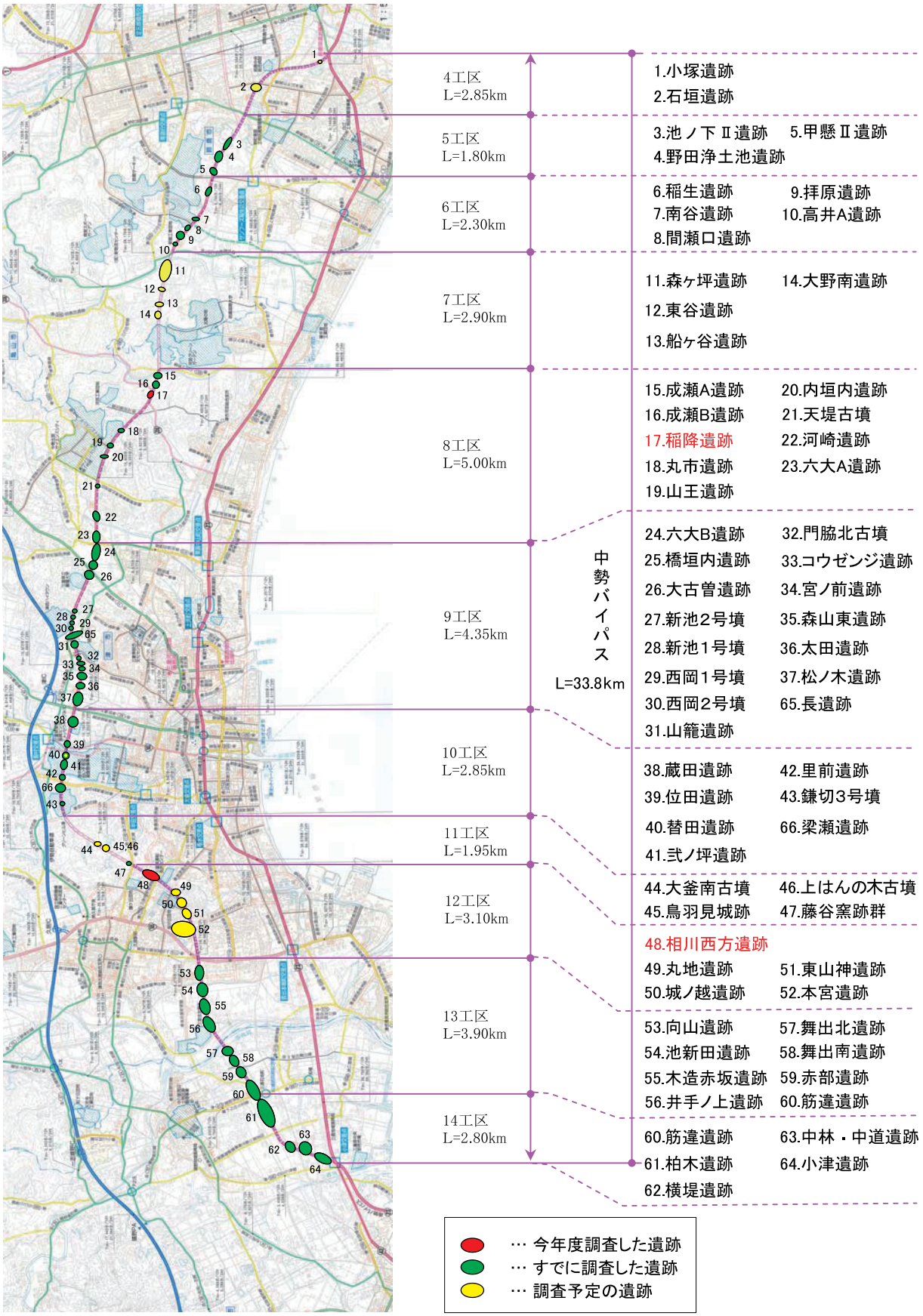
平成６年度から10年度にかけては安濃川付近から岩田川にかけての地域（10工区）で重点的に調査が行われた。位田遺跡は、大型の掘立柱建物、碁石・宝珠硯・緑釉陶器などの特殊な遺物が見つかったことから一般的な集落ではなく、富豪層の屋敷地と推定されている。

平成11年度以降は雲出川付近から南勢バイパスまでの地域（13・14工区）で重点的に調査が行われた。舞出北遺跡からは、雲出川堤防のすぐ脇という立地ではあまり想定されない古墳が見つかり、埴輪や鉄刀などが出土した。筋違遺跡からは、弥生時代前期の畠や水田が見つかった。他に、呪符木簡が出土した中林・中道遺跡やサイコロが出土した小津遺跡など、室町時代の集落が確認された。

平成17年度から19年度にかけて、約25,000㎡の本調査が行われた木造赤坂遺跡からは、国内に類例のない特異なコップ形の陶質土器や大量の臼玉、銅製の笄、大量のロクロ土師器、70棟を超える古墳時代の竪穴住居、平安時代末期・鎌倉時代・室町時代の屋敷地が見つかった。遺跡のある一帯は、平安時代後期から戦国時代にかけて「木造荘」という荘園があった場所として知られており、斎宮や伊勢平氏、木造氏との関わりでも注目されている。

発掘調査開始から20年目の平成19年度末の段階で５・６・９・13・14工区の現地調査が終了した。平成20年度の調査により８工区も終了し、現地調査が済んだ遺跡は53遺跡にのぼる。

現在把握されている残りの遺跡は、鈴鹿市内（４・７工区）６遺跡と津市南部（10・11・12工区）９遺跡の合計15遺跡である。　（水橋公恵）



（縮尺は任意）

第３図　中勢道路路線内遺跡位置図

第２表　中勢道路発掘調査成果一覧

工区		遺　跡　名	所在地	対象面積（㎡）	調査面積（㎡）	S63	H元	H２	H３	H４	H５	H６	H７	H８	H９	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	
５工区	3	池ノ下Ⅱ遺跡 旧：池ノ下遺跡	鈴鹿市稲生町	17,000	1,300 0																1,300						※１
	4	野田遺跡	鈴鹿市稲生町	12,600	970 0																970						※１
	5	甲懸Ⅱ遺跡 旧：甲懸遺跡	鈴鹿市稲生町	6,200	1,150 2,650																1,150	2,650					※１ ※１
	—	浄土池遺跡	鈴鹿市稲生町	—	330 0																330						※１
小　計				35,800	3,750 2,650	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	3,750 0	0 2,650	0 0	0 0	0 0	0 0	
６工区	6	稲生遺跡 旧：稲生Ⅰ-4号窯	鈴鹿市稲生町	3,300	185 2,100				185	2,100																	
	7	南谷遺跡	鈴鹿市稲生町	4,000	176 1,300				176	1,300																	
	8	間瀬口遺跡	鈴鹿市徳田町	7,000	96 0					96																	
	9	拝原遺跡	鈴鹿市御園町	7,000	64 0					64																	
	10	高井Ａ遺跡	鈴鹿市徳田町	4,000	96 4,550					96			4,100	450													
小　計				25,300	617 7,950	0 0	0 0	0 0	361 0	256 3,400	0 0	0 0	0 4,100	0 450	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
８—１工区	15	成瀬Ａ遺跡	津市河芸町三行	12,000	600 0																			600			
	16	成瀬Ｂ遺跡	津市河芸町三行	8,700	140 0																			140			
	17	稲降遺跡	津市河芸町三行	2,500	560 0																			260		300	
小　計				23,200	1,300 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1,000 0	0 0	300 0	
８—２工区	18	丸市遺跡	津市河芸町南黒田	1,600	128 0						128																
	19	山王遺跡	津市河芸町南黒田	3,700	128 0						128																
	20	内垣内遺跡	津市河芸町南黒田	4,200	128 0						128																
	21	天堤古墳	津市大里睦合町	900	55 0						55																
	22	河崎遺跡	津市大里睦合町	10,600	256 0						256																
	23	六大Ａ遺跡	津市大里窪田町	17,800	448 13,220						352	96 8,830	4,130	260													
小　計				38,800	1,143 13,220	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1,047 0	96 8,830	0 4,130	0 260	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	

工区		遺　跡　名	所在地	対象面積（㎡）	調査面積（㎡）	S63	H元	H２	H３	H４	H５	H６	H７	H８	H９	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
9工区	24	六大Ｂ遺跡	津市大里窪田町	26,235	444	416				28																
					26,235			17,525	3,420	3,350	1,270	670														
	25	橋垣内遺跡	津市大里窪田町	12,000	176	176																				
					12,000		7,000	4,925	75																	
	26	大古曽遺跡	津市一身田	12,435	692	352		300		40																
					12,435				5,160	240	7,035															
	27	新池2号墳	津市一身田	—	198									198												
					0																					
	28	新池1号墳	津市河辺町	—	20	20																				
					0																					
	29	西岡1号墳	津市河辺町	2,000	70				70																	
					2,000					2,000																
	30	西岡2号墳	津市河辺町	—	30				30																	
					0																					
	31	山籠遺跡	津市河辺町	1,100	208	208																				
					1,100		1,100																			
	32	門脇北古墳	津市河辺町	1,100	0																					
					1,100		1,100																			
	33	コウゼンジ遺跡	津市河辺町	—	80	80																				
					0																					
	34	宮ノ前遺跡	津市長岡町	2,800	144	144																				
					2,800		2,700				100															
	35	森山東遺跡	津市長岡町	5,230	240	240																				
					5,230	4,230	1,000																			
	36	太田遺跡	津市長岡町	3,320	469	469																				
					3,320	3,320																				
	37	松ノ木遺跡	津市安東町	7,800	144	144																				
					7,800		7,800																			
	65	長遺跡	津市河辺町	3,700	0																					
					3,700								3,700													
小　計				77,720	2,915	2,249	0	300	100	68	0	0	0	198	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					77,720	7,550	20,700	22,450	8,655	5,590	8,405	670	3,700	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10工区	38	蔵田遺跡	津市納所町	12,800	1,356		608						748													
					16,340							5,600	6,810	3,300			630									
	39	位田遺跡	津市北河路町	7,100	416		416											660								※2
					5,260									4,600												
	40	替田遺跡	津市南河路	7,900	432		176							256												
					10,830									6,620	4,210											
	41	弐ノ坪遺跡	津市野田	5,700	320		320																			
					5,100										5,100											
	42	里前遺跡	津市野田	3,000	256		160							96												
					2,810											1,280						1,530				
	66	梁瀬遺跡	津市野田	—	1,152									474	678											
					3,620											3,620										
	43	鎌切3号墳	津市神戸	—	-------	昭和59年津市教育委員会が発掘調査																				
小　計				36,500	3,932	0	1,680	0	0	0	0	0	748	826	678	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					43,960	0	0	0	0	0	0	5,600	6,810	14,520	9,310	4,900	630	660	0	0	0	1,530	0	0	0	0

工区		遺　跡　名	所在地	対象面積（㎡）	調査面積（㎡）	S63	H元	H２	H３	H４	H５	H６	H７	H８	H９	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	
12工区	48	相川西方遺跡	津市 久居相川町	18,000	1,000 0																					1,000 0	
	49	丸地遺跡	津市垂水	4,100	0 0																						
	50	城ノ越遺跡	津市 久居小野辺町	16,300	0 0																						
	51	東山神遺跡	津市 久居小野辺町	13,300	0 0																						
	52	本宮遺跡	津市 久居野村町	11,300	0 0																						
小　計				63,000	1,000 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1,000 0	
13工区	53	向山遺跡	津市 高茶屋小森町	28,000	1,780 2,393																		1,380	400	2,393		
	54	池新田遺跡	津市木造町	16,300	554 1,961																	554			1,961		
	55	木造赤坂遺跡 旧：赤坂遺跡	津市木造町	17,500	1,192 24,370																	1,192	6,570	11,500	6,300		
	56	井手ノ上遺跡	津市木造町	12,500	800 370																	800		370			
	57	舞出北遺跡 旧：舞出遺跡	松阪市舞出町	9,600	960 11,170											810	4,090	150 3,380				3,700					
	58	舞出南遺跡 旧：松垣内遺跡	松阪市舞出町	16,300	1,200 0											1,200											
	59	赤部遺跡 旧：新屋庄遺跡	松阪市 嬉野新屋庄町	16,800	1,190 16,820													1,190			6,300	7,000	3,520				※３ ※３
	60	筋違遺跡	松阪市 嬉野新屋庄町	37,000	3,680 13,280													1,640	2,900			2,040	10,380				
小　計				154,000	11,356 70,364	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2,010 0	0 4,090	2,980 3,380	0 2,900	0 0	0 6,300	4,586 10,700	1,380 20,470	400 11,870	0 10,654	0 0	
14工区	60	筋違遺跡	松阪市 嬉野新屋庄町	—	770 5,410													770	5,410								
	61	柏木遺跡	松阪市 嬉野川北町	31,000	1,470 2,990													1,470		540	2,450						※３
	62	横堤遺跡	松阪市 嬉野津屋城町	21,500	1,140 0													1,140									
	63	中林・中道遺跡 旧：狭間遺跡	松阪市中道町	18,600	1,010 8,470													1,010	1,040	5,240	2,190						
	64	小津遺跡 旧：東浦遺跡	松阪市小津町	23,000	1,424 11,220													1,190	280	84 3,780	150 7,160						
小　計				94,100	5,814 28,090	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	5,580 0	0 6,730	84 9,560	150 11,800	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
合　　計				548,420	31,827 243,954	2,249 7,550	1,680 20,700	300 22,450	461 8,655	324 8,990	1,047 8,405	96 15,100	748 18,740	1,024 15,230	678 9,310	2,010 4,900	0 4,720	8,560 4,040	0 9,630	84 9,560	3,900 18,100	4,586 14,880	1,380 20,470	1,400 11,870	0 10,654	1,300 0	

上段：第１次調査面積、下段：本調査面積　　アミカケについては、※１：鈴鹿市（教育委員会）実施　※２：津市教育委員会実施　※３：松阪市（嬉野町）教育委員会実施

Ⅲ　稲降遺跡（第１次）

１　はじめに

当遺跡は津市河芸町三行に所在し、弥尼布理（みねふり）神社の北西側、現時点における中勢バイパスと国道306号線が合流する交差点の北側に位置し、丘陵から谷にかけて立地している（第１図）。地目は、水田・荒蕪地・山林である。これまで古墳時代を中心とした遺跡として知られてきた。

周辺の主な遺跡としては、北西側に古墳時代の須恵器を焼いた窯が38基確認されている徳居古窯跡群、北側に三行城跡などがある。

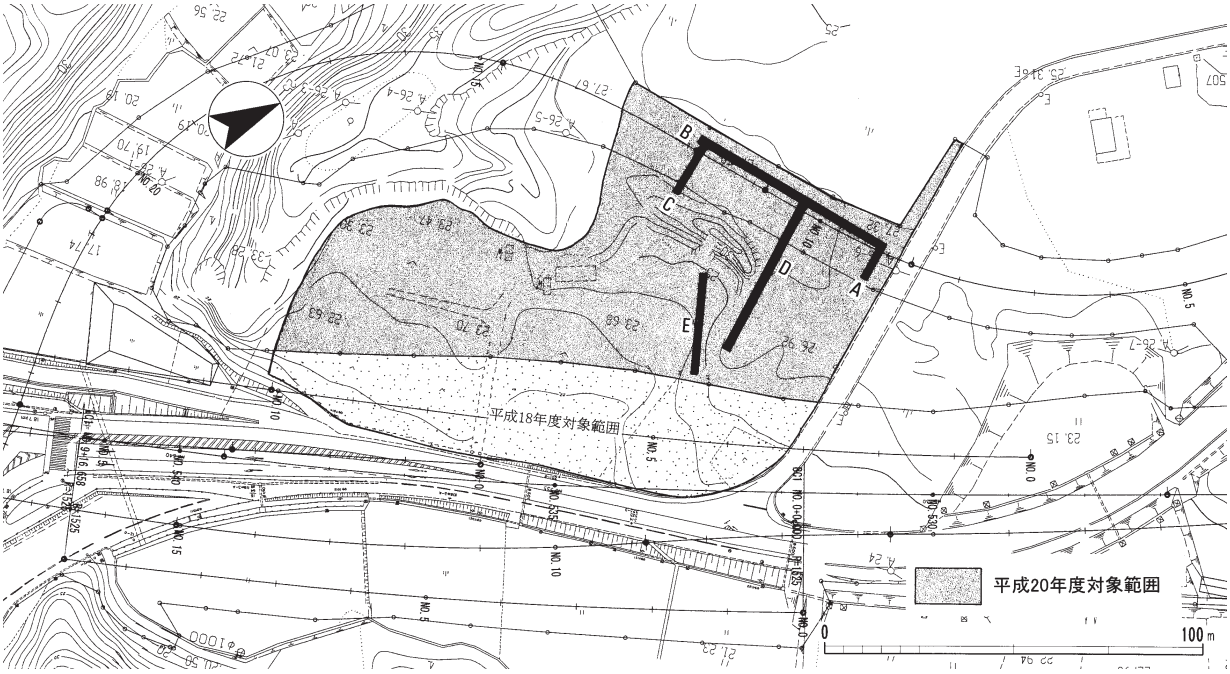
２　調査概要・結果

平成18年度に引き続き、遺跡の範囲等の確認を目的として第１次調査を行った。今回は、荒蕪地と山林丘陵部において、幅２ｍのトレンチ状の調査区を５箇所（Ａ～Ｅ区）設定した（第４図）。

調査の結果、Ａ・Ｂ・Ｃ区およびＤ区北部では、厚さ30㎝ほどの表土（腐葉土）直下で地山が確認された。Ｄ区南部では、表土の下に現代の撹乱土が厚く堆積しており、Ｅ区では北から南へ開口する谷地形を確認した。いずれの調査区においても、遺構・遺物は確認されなかった。　（前野謙一）

Ｂ区（南西から）

Ｄ区南部（南東から）



第４図　稲降遺跡　調査区位置図（１：2,000）

Ⅳ　相川西方遺跡（第１次）

１　はじめに

相川西方遺跡は、津市久居相川町に所在し、相川の北側、浅い谷の部分に位置する（第２図）。これまで弥生時代から古墳時代を中心とした遺跡として知られてきた。西側の丘陵上に久居古窯跡群がある。

２　調査概要・結果

本年度は遺構の広がりや密度、時期の確認を目的として第１次調査を行った。幅２ｍのトレンチを16箇所（Ａ～Ｐ区）設定した（第５図）。

調査の結果、現状では北から南に向かって低い地形であるが、Ｈ～Ｋ区が位置する地点の旧地形は浅い谷状になっていた。また、Ｊ・Ｌ区は南に向かって高くなっており、Ｊ・Ｌ区の南側とＮ区は削平を受けていた。

北側の基本層序は第Ⅰ層（第６図１層）：表土、第Ⅱ層（同３層）：黒褐色粘質土、第Ⅲ層（同６～８層）：黒褐色砂質土～褐灰色粘土、第Ⅳ層（同15層）：黒色粘土、第Ⅴ層（同26層）：暗灰色粘土、第Ⅵ層（同28層）：褐灰色粘土である。遺構の検出は第Ⅵ層上面で行った。

Ｈ～Ｋ区では土坑や溝と思われる遺構を検出した。土層観察の結果、第Ⅴ層上面から掘削されていることがわかった。また、不整形な土坑状のものも多数確認したが、その性格は不明である。遺物はＩ区の土坑の中から台付甕（第７図１）が出土し、表土などから須恵器や土師器、埴輪片などが出土した。

Ｏ・Ｐ区は現状でも一段低い地形になっている。遺構検出を行った結果、土坑状の遺構を確認し、遺物は須恵器や土師器が出土した。

一方、西側のＡ～Ｇ区では須恵器高杯（第７図２）や陶磁器などの遺物が出土したものの遺構は確認されなかった。

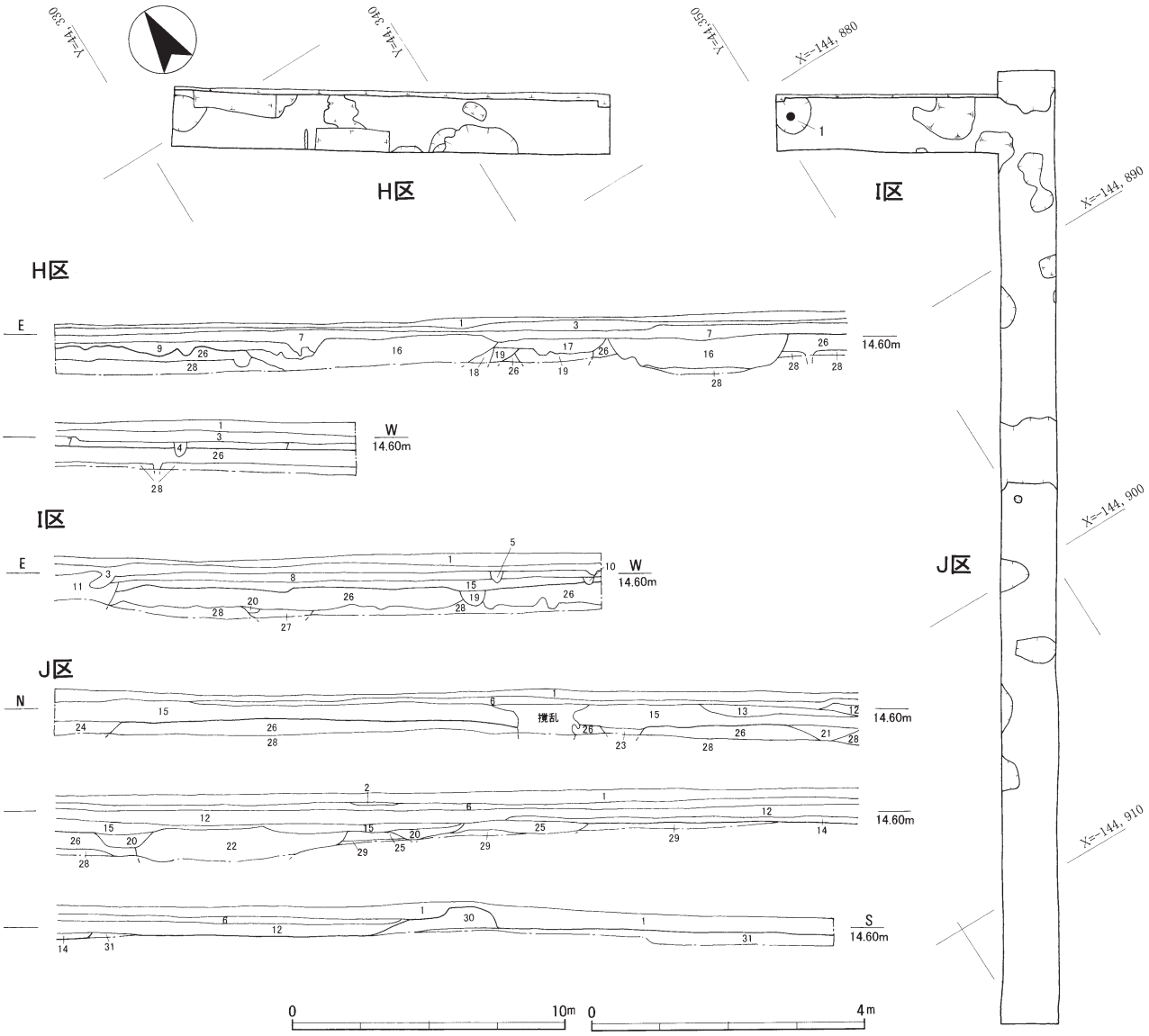
以上のように、古墳時代を中心とする遺構・遺物の広がりが確認できたことから、Ｈ～Ｐ区にかけての約5,800㎡（第５図）について本調査が必要と判断した。

（野嶌美沙子）

第５図　相川西方遺跡　調査区位置図（１：5,000）

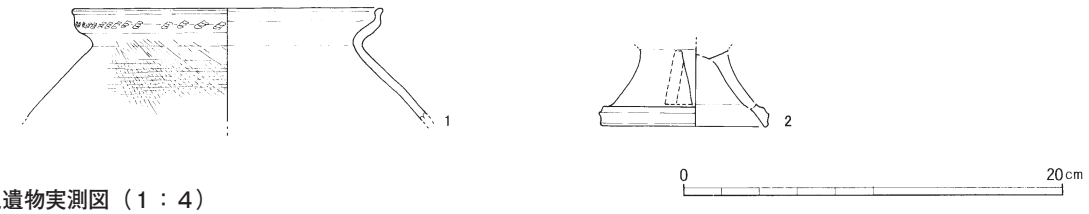
Ｊ区遺構検出状況（南東から）

Ｊ区検出遺構（東から）



1 表土
2 10YR4/2灰黄褐色土に10YR3/2黒褐色砂質土混
3 10YR3/2黒褐色粘質土
4 N3/暗灰色粘土に10YR4/2灰黄褐色砂質土ブロック混
5 10YR3/1黒褐色土
6 10YR4/1褐灰色粘土に10YR2/1黒色粘土ブロック混
7 10YR2/3黒褐色砂質土
8 10YR3/1黒褐色砂質土
9 10YR3/2黒褐色砂
10 2.5Y3/1黒褐色粘土に10YR6/8明黄褐色砂含
11 10YR1.7/1黒色粘土
12 10YR3/3暗褐色粘土
13 10YR4/2灰黄褐色粘土
14 10YR3/3暗褐色粘土に10YR7/2にぶい黄橙色粘土ブロック、10YR2/2黒褐色粘土ブロック混
15 2.5Y2/1黒色粘土
16 N3/暗灰色粘土に10YR4/1褐灰色粘土ブロック混
17 10YR1.7/1黒色粘土　遺構埋土
18 N1.5/黒色粘土　遺構埋土
19 N2/黒色粘土　遺構埋土
20 10YR3/1黒褐色粘土　遺構埋土
21 10YR4/1褐灰色粘土に10YR3/1黒褐色粘土ブロック混　遺構埋土
22 10YR2/1黒色粘土に10YR5/1褐灰色粘土ブロック、10YR4/1褐灰色粘土ブロック混　遺構埋土
23 10YR4/1褐灰色粘土に10YR5/1褐灰色粘土ブロック混　遺構埋土
24 10YR2/1黒色粘土　遺構埋土
25 10YR6/1褐灰色粘土に2.5Y2/1黒色粘土ブロック混
26 N3/暗灰色粘土に10YR6/8明黄褐色粘土ブロック混
27 10YR4/1褐灰色粘土にN/2黒色粘土ブロック混　遺構埋土
28 10YR4/1褐灰色粘土　地山
29 10YR6/1褐灰色砂質シルト　地山
30 10YR6/6明黄褐色粘土に10YR7/8黄橙色礫混　地山
31 10YR7/2にぶい黄橙色粘土に10YR7/8黄橙色砂礫混　地山

第６図　Ｈ・Ｉ・Ｊ区遺構平面図（１：250）、土層断面図（１：100）



第７図　出土遺物実測図（１：４）

報 告 書 抄 録

ふりがな	いっぱんこくどうにじゅうさんごうちゅうせいどうろまいぞうぶんかざいはっくつちょうさがいほうにじゅういち
書名	一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報21
副書名	
巻次	
シリーズ名	一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報
シリーズ番号	21
編著者名	水橋公恵　　前野謙一　　野嶌美沙子
編集機関	三重県埋蔵文化財センター
所在地	〒515－0325　　三重県多気郡明和町竹川503　　℡　0596-52-1732
発行年月日	2009（平成21）年７月

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
いねふりいせき 稲降遺跡	みえけんつしかわげちょうみゆき 三重県津市河芸町三行	201	c 46	34° 47′ 51″	136° 31′ 4″	20080818～ 20080826	第１次調査 300	一般国道23号 中勢道路建設
あいかわせいほういせき 相川西方遺跡	みえけんつしひさいあいかわちょう 三重県津市久居相川町	201	b 180	34° 41′ 21″	136° 29′ 14″	20081015～ 20081215	第１次調査 1,000	一般国道23号 中勢道路建設

所収遺跡名	種　別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
稲降遺跡	遺物散布地		なし	なし	
相川西方遺跡	遺物散布地	古墳時代	土坑・溝	土師器・須恵器・埴輪	

要約		
	稲降遺跡	遺跡は、中勢道路と国道306号線が合流する北側に位置し、丘陵から谷にかけて立地している。平成18年度に引き続き、２度目の第１次調査を行ったが、遺構・遺物ともに確認されなかった。
	相川西方遺跡	遺跡は、相川の北側、浅い谷の部分に位置する。範囲確認を目的とした第１次調査を行った。古墳時代の土坑・溝を検出し、土師器・須恵器・埴輪が出土した。遺構が検出された範囲（約5,800㎡）について本調査が必要と判断した。

一般国道23号　中勢道路

埋蔵文化財発掘調査概報 21

2009（平成21）年　7月

編集・発行　三重県埋蔵文化財センター

印　　刷　（有）山　文　印　刷